



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所 東
コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 木村 弘毅
問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 CFO (氏名) 島村 恒平 (TEL) 03-6897-9500
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	63,968	△2.7	5,943	△55.9	3,811	△66.1	3,760	△64.3	2,250	14.8
2023年3月期第2四半期	65,734	21.1	13,484	21.3	11,249	23.1	10,521	15.7	1,960	△68.2

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,590百万円(△15.7%) 2023年3月期第2四半期 3,073百万円(△49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	31.37	31.00
2023年3月期第2四半期	26.96	26.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	208,815	174,952	82.6
2023年3月期	222,321	183,463	81.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 172,486百万円 2023年3月期 181,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2024年3月期	—	55.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	△6.0	16,000	△45.7	12,000	△51.7	11,000	△39.7	7,500	45.3	102.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	73,730,850株	2023年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,420,825株	2023年3月期	5,257,825株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	71,754,173株	2023年3月期2Q	72,728,128株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2023年11月10日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	65,734	63,968	△2.7%
EBITDA(百万円)	13,484	5,943	△55.9%
営業利益(百万円)	11,249	3,811	△66.1%
経常利益(百万円)	10,521	3,760	△64.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,960	2,250	14.8%

当第2四半期連結累計期間の売上高は63,968百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。また、EBITDAは5,943百万円（前年同四半期比55.9%減）、営業利益は3,811百万円（前年同四半期比66.1%減）、経常利益は3,760百万円（前年同四半期比64.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,250百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	47,608	43,051	△9.6%
セグメント利益(百万円)	20,524	13,440	△34.5%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当第2四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」は、10周年施策等の効果によりMAUが増加したものの、前年同期に大型IPとのコラボがあったため相対的にARPUが低下し、前第2四半期連結累計期間と比較して、売上高が減少しております。また、2023年7月にはモンスターIPを活用した新作タイトル「ゴールドラッシュパトラー」をリリースし、モンスターIPを活用した6タイトルが現在運用中となっております。「モンスターストライク」の売上減少及びモンスターIPタイトルの運営費等の増加により、セグメント利益は減少しております。

この結果、当事業の売上高は43,051百万円（前年同四半期比9.6%減）、セグメント利益は13,440百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。

② スポーツ事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	12,995	15,050	15.8%
セグメント損失(△)(百万円)	△1,378	△876	－%

スポーツ事業では、観戦事業、公営競技事業への投資を行っております。観戦事業におきましては、千葉ジェッツのチャンピオンシップ準優勝やFC東京の観客数の回復に伴い、売上を伸ばしております。公営競技事業におきましては、スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトでオンライン車券販売高が伸びたことにより、前第2四半期連結累計期間と比較して、売上を順調に拡大しております。なお、「TIPSTAR」は、コストの効率化を進め費用の抑制を図ったことで、利益は改善しております。

この結果、当事業の売上高は15,050百万円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント損失は876百万円（前年同四半期はセグメント損失1,378百万円）となりました。

③ ライフスタイル事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	3,508	4,550	29.7%
セグメント損失(△)(百万円)	△233	△682	－%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」におきましては、フォトプリントサービス及び母の日父の日ギフト等のサービスが好調であったことから売上を順調に拡大しております。一方、海外ユーザー獲得のためのプロモーション及び体制強化への投資を積極的に行っております。

この結果、当事業の売上高は4,550百万円（前年同四半期比29.7%増）、セグメント損失は682百万円（前年同四半期はセグメント損失233百万円）となりました。

④ 投資事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,551	1,145	△26.1%
セグメント利益(百万円)	1,112	698	△37.2%

投資事業では、当社及び当社の連結子会社において、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、出資するファンドの損益の取込や、当社の連結子会社において保有株式の売却を行いました。

この結果、当事業の売上高は1,145百万円（前年同四半期比26.1%減）、セグメント利益は698百万円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結累計期間の財政状態は、資産については流動資産が150,517百万円（前連結会計年度末比12,389百万円減少）となり、主な要因としては、自己株式の取得、法人税等、配当金の支払いによる現預金の減少があげられます。固定資産は58,298百万円（前連結会計年度末比1,115百万円減少）となっております。

負債については、流動負債が24,844百万円（前連結会計年度末比4,399百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人税等などの減少があげられます。純資産は174,952百万円（前連結会計年度末比8,510百万円減少）となり、主な要因としては、自己株式の取得、配当金の支払いによる減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて15,259百万円減少し、103,443百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は504百万円（前年同四半期は8,073百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額4,385百万円及び税金等調整前四半期純利益3,633百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は3,663百万円（前年同四半期は4,169百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,459百万円及び投資有価証券の取得による支出1,364百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は11,429百万円（前年同四半期は3,906百万円の使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出7,522百万円及び配当金の支払4,011百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,922	103,664
受取手形及び売掛金	13,736	11,275
営業投資有価証券	19,514	21,982
商品	484	680
未収消費税等	10	210
その他	10,274	12,949
貸倒引当金	△35	△245
流動資産合計	162,907	150,517
固定資産		
有形固定資産	15,114	15,571
無形固定資産		
のれん	9,806	9,136
顧客関連資産	5,638	5,299
商標権	2,467	2,342
その他	1,498	1,385
無形固定資産合計	19,410	18,164
投資その他の資産		
投資有価証券	10,313	11,238
長期貸付金	3,405	2,779
繰延税金資産	6,963	6,217
その他	5,353	5,393
貸倒引当金	△1,147	△1,067
投資その他の資産合計	24,889	24,562
固定資産合計	59,413	58,298
資産合計	222,321	208,815
負債の部		
流動負債		
短期借入金	912	1,294
未払金	13,606	10,900
未払法人税等	4,677	983
未払消費税等	1,571	159
賞与引当金	2,847	1,134
その他	5,629	10,371
流動負債合計	29,244	24,844
固定負債		
長期借入金	6,873	6,604
繰延税金負債	2,506	2,367
その他	234	45
固定負債合計	9,613	9,018
負債合計	38,857	33,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,662	9,662
利益剰余金	177,655	162,234
自己株式	△16,900	△10,338

株主資本合計	180,116	171,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	436
為替換算調整勘定	510	791
その他の包括利益累計額合計	893	1,228
新株予約権	1,127	1,120
非支配株主持分	1,324	1,346
純資産合計	183,463	174,952
負債純資産合計	222,321	208,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	65,734	63,968
売上原価	17,393	20,690
売上総利益	48,341	43,277
販売費及び一般管理費	※1 37,092	※1 39,466
営業利益	11,249	3,811
営業外収益		
受取利息	2	12
為替差益	155	391
その他	204	154
営業外収益合計	362	558
営業外費用		
支払利息	30	28
持分法による投資損失	1,005	476
その他	54	104
営業外費用合計	1,090	609
経常利益	10,521	3,760
特別利益		
固定資産売却益	0	6
その他	—	0
特別利益合計	0	7
特別損失		
事業撤退損	※2 4,468	—
固定資産除売却損	0	2
貸倒引当金繰入額	1,129	131
関係会社株式売却損	※3 875	—
特別損失合計	6,474	133
税金等調整前四半期純利益	4,046	3,633
法人税、住民税及び事業税	3,514	794
法人税等調整額	△2,249	584
法人税等合計	1,264	1,378
四半期純利益	2,781	2,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	820	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,960	2,250

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,781	2,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146	51
為替換算調整勘定	438	281
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	292	335
四半期包括利益	3,073	2,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,253	2,585
非支配株主に係る四半期包括利益	820	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,046	3,633
減価償却費	712	666
無形固定資産償却費	898	796
のれん償却額	624	669
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△464	△1,713
受取利息及び受取配当金	△2	△12
支払利息	30	28
為替差損益(△は益)	△152	△141
持分法による投資損益(△は益)	1,005	476
貸倒引当金繰入額	1,129	131
事業撤退損	4,468	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	△4
関係会社株式売却損益(△は益)	875	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,739	2,472
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△2,082	△2,397
棚卸資産の増減額(△は増加)	225	△187
未払金の増減額(△は減少)	1,522	△1,756
未払消費税等の増減額(△は減少)	615	△1,411
預り金の増減額(△は減少)	192	3,061
その他の資産の増減額(△は増加)	△6,243	△1,769
その他	1,287	1,358
小計	10,429	3,897
利息及び配当金の受取額	2	12
利息の支払額	△30	△28
法人税等の支払額	△2,328	△4,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,073	△504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,177	△1,459
無形固定資産の取得による支出	△339	△207
投資有価証券の取得による支出	△1,898	△1,364
貸付けによる支出	△1,120	△1,800
貸付金の回収による収入	640	1,200
差入保証金の差入による支出	△38	△45
差入保証金の回収による収入	23	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	233	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△921	—
その他	427	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,169	△3,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	199	404
長期借入金の返済による支出	△217	△290
自己株式の取得による支出	△0	△7,522
配当金の支払額	△3,988	△4,011
その他	99	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,906	△11,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	462	337

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	459	△15,259
現金及び現金同等物の期首残高	118,433	118,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,893	103,443

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,810,600株の取得を行いました。また、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2023年7月12日に自己株式135,700株の処分を行い、2023年9月22日の取締役会決議に基づき、2023年9月29日に自己株式4,500,000株の消却を行いました。更に、当第2四半期連結累計期間におけるストックオプションの権利行使による自己株11,900株の処分を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が13,657百万円、自己株式が6,562百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末における利益剰余金が162,234百万円、自己株式が10,338百万円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
広告宣伝費	7,777百万円	10,606百万円
決済手数料	14,653百万円	13,602百万円

※2. 事業撤退損

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

新規プロダクトの開発を中止したことにより生じた事業撤退損4,468百万円を特別損失に計上しております。

※3. 関係会社株式売却損

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社の連結子会社である株式会社PIST6の全株式を売却したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
現金及び預金勘定	119,093百万円	103,664百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△200百万円	△221百万円
現金及び現金同等物	118,893百万円	103,443百万円

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	47,608	12,995	3,508	—	64,111	71	64,183
その他の収益	—	—	—	1,551	1,551	—	1,551
外部顧客への売上高	47,608	12,995	3,508	1,551	65,663	71	65,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	47,608	12,995	3,508	1,551	65,663	71	65,734
セグメント利益又は損失(△)	20,524	△1,378	△233	1,112	20,024	△8,775	11,249
その他の項目							
減価償却費	157	855	141	0	1,153	457	1,611
のれん償却額	—	478	145	—	624	—	624

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,775百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,153百万円及びのれん償却額△624百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上71百万円、全社費用△7,069百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	43,051	15,050	4,550	—	62,652	170	62,822
その他の収益	—	—	—	1,145	1,145	—	1,145
外部顧客への売上高	43,051	15,050	4,550	1,145	63,798	170	63,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,051	15,050	4,550	1,145	63,798	170	63,968
セグメント利益又は損失(△)	13,440	△876	△682	698	12,579	△8,768	3,811
その他の項目							
減価償却費	84	803	128	0	1,016	445	1,462
のれん償却額	—	478	190	—	669	—	669

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,768百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,016百万円及びのれん償却額△669百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上170百万円、全社費用△7,251百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。